

第3回朝日自然塾

平成29年
7月22日(土)

プロが教える イワナ釣り

第3回朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」は、7月22日(土)鶴岡市大鳥東大鳥川に、下は幼稚園児、上は72歳の年配まで23名の参加者と、講師・スタッフ11名の総勢34名で実施しました。

梅雨特有の厚い雲に覆われ、天候が心配されましたが、釣りの時間帯だけは、雨をまぬがれ、参加者は一様に溪流釣りの醍醐味と、自然の大切さを感じ取っていました。

溪流釣りは3班に分かれて行われ、最初に山形県溪流釣り協議会の講師4名から、エサの付け方や竿の出し方、仕掛けの流し方、川でのルールやマナー等を教わりスタート。ニジマスやハヤ、オイカワ、釣れるたびに参加者の顔がほころび



イワナじゃないけど釣れたよ

ます。約1時間30分の溪流釣りで、ほとんどの参加者が1尾以上の魚を手に入れました。

次は隣接の池に移動、イワナ等の釣りを楽しみ、釣り上げた魚のさばき方と毛針作りを学びました。



静かに慎重に



魚のさばき方

午後は鈴木会長（山形県溪流釣り協議会）のイワナと森林の関係や、イワナ釣りの体験秘話に、真剣な面持ちで耳を傾けていました。



多くの参加者で賑わいました

今回は幼稚園児や小学1、2年の小さなお子さんが多く参加し、安全面に特に気を配りましたが、その甲斐もあり、無事に終了。朝日自然塾での再会を約束し合い鶴岡市大鳥を後にしました。

(今回のイベントにあたり、鶴岡市朝日庁舎よりマイクロバスを運行して頂きました。ありがとうございました。)

林野庁 東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター